（別紙様式２）

授業科目等の概要

（工業専門課程カスタム自動車工学科）2024年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			エンジン	ガソリン・ジーゼルエンジンに必要な整備方法を理解する。	1通	58		○			○		○		○
○			シャシ	動力伝達（マニュアルトランスミッション、クラッチ）、旋回・走行（ステアリング、サスペンション、ホイールアライメント）、制動装置（ブレーキ）の構造を理解及び12ヶ月定期点検の整備内容及び重要性を理解する。	1通	92		○			○		○		○
○			電装	自動車整備に必要な灯火・点火・充電・開閉・施錠・始動装置の整備方法を理解する。	1通	52		○			○		○		○
○			自動車整備士の力学・数学	自動車整備に必要な力学・数学の基礎を理解する。	1通	32		○			○		○		
○			電気・電子理論	自動車電装に関係する電気の基本と回路について習得する。	1通	34		○			○		○		
○			材料	自動車材料の特徴・鉄と鋼・非鉄金属材料の特徴を理解する。	1前	9		○			○		○		
○			燃料・潤滑剤	ガソリン・軽油、エンジンオイル、潤滑剤の役割を理解する。	1通	32		○			○		○		
○			図面	図面の名称、図面の大きさ及び様式、製図に用いる線、図形の表し方、図面の見方を理解する	1後	5		○			○		○		
○			機器の構造・取り扱い	工具・整備機器の名称、役割、使用方法を理解する。	1通	24		○			○		○		○
○			自動車検査	自動車が道路を走行するための基準を理解する	1後	10		○			○		○		
		○	自動二輪	自動二輪車の構造・基本整備方法を理解する。	1後	30		○			○			○	○
		○	ビジネス教養	社会人として必要な、ビジネス教養、マナー、常識を身に付ける。	1前	8		○			○			○	
		○	一般教養	就職試験に必要な、一般教養、専門教養と、面接試験対策を重点的に行う。	1後	8		○			○			○	
合計				科目	単位時間（　　単位）										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	１学年の学期区分	前後期
	１学期の授業期間	38週

（留意事項）

１　一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

２　企業等との連携については、実施要項の３（３）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

（別紙様式２）

授業科目等の概要

（工業専門課程カスタム自動車工学科）2024年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			エンジン整備実習	ガソリン・ジーゼルエンジンに必要な整備方法実習にて理解する。	1通	180				○	○	△	○		○
○			シャシ整備実習	動力伝達（マニュアルトランスミッション、クラッチ）、旋回・走行（ステアリング、サスペンション、ホイールアライメント）、制動装置（ブレーキ）の構造を理解及び12ヶ月定期点検の整備内容を実習車にて理解する。	1通	270				○	○	△	○		○
○			電装整備実習	自動車整備に必要な灯火・点火・充電・開閉・施錠・始動装置の整備方法を実習にて理解する。	1通	170				○	○	△	○		○
○			自動車検査実習	自動車の点検整備後の検査作業手順について理解する	1後	26				○	○	△	○		○
○			故障探究実習	エンジン・シャシ・電装実習作業における故障探究手順を理解する	1後	10				○	○	△	○		○
○			基本計測	各整備作業時に必要な計測作業を理解する。	1通	23				○	○	△	○		○
○			工作作業	簡単な工作作業を通じて、必要な工作方法を理解する。	1後	22				○	○		○		
		○	自動二輪車	自動二輪車の構造・基本整備方法を理解する。	1後	30				○	○		○		○
		○	特色授業	一級自動車工学課程及び車体工学課程の特色ある授業の基本を学ぶ。	1通	16				○	○	△	○		
合計				20科目	必須時間（　1049時間）										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業に必要な必須科目の時間数の９０％以上の出席率であること	１学年の学期区分	前後期
	１学期の授業期間	38週

（留意事項）

１　一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合

２　企業等との連携については、実施要項の３（３）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

（別紙様式２）

授業科目等の概要

（工業専門課程カスタム自動車工学科）2024年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			エンジン	ガソリン・ジーゼルエンジンに必要な整備方法を理解する。	2通	64		○			○		○		○
○			シャシ	動力伝達（マニュアルトランスミッション、クラッチ）、旋回・走行（ステアリング、サスペンション、ホイールアライメント）、制動装置（ブレーキ）の構造を理解及び12ヶ月定期点検の整備内容及び重要性を理解する。	2通	80		○			○		○		○
○			電装	自動車整備に必要な灯火・点火・充電・開閉・施錠・始動装置の整備方法を理解する。	2通	72		○			○		○		○
○			自動車整備士の力学・数学	自動車整備に必要な力学・数学の基礎を理解する。	2通	30		○			○		○		
○			電気・電子理論	自動車電装に関係する電気の基本と回路について習得する。	2通	20		○			○		○		
○			自動車整備に関する法規	自動車整備に関係する法律を理解する。	2通	24		○			○		○		
○			自動車整備の故障原因探究	自動車の故障個所の診断・原因探究・究明方法を勉強する。	2後	12		○			○		○		○
○			自動車検査	自動車が道路を走行するための基準と保安基準に合う点検方法を学ぶ。	2後	14		○			○		○		
○			機器の構造・取り扱い	工具・整備機器の名称、役割、使用方法を理解する。	2後	8		○			○		○		○
		○	ビジネス教養	社会人として必要な、ビジネス教養、マナー、常識を身に付ける。	2前	8		○			○			○	
		○	一般教養	就職試験に必要な、一般教養、専門教養と、面接試験対策を重点的に行う。	2後	8		○			○			○	
合計				科目	必須時間（　　時間）										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	2学年の学期区分	前後期
	１学期の授業期間	37週

（留意事項）

１　一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

２　企業等との連携については、実施要項の３（３）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

（別紙様式２）

授業科目等の概要

（工業専門課程カスタム自動車工学科）2024年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			エンジン整備実習	ガソリン・ジーゼルエンジンに必要な整備方法実習にて理解する。	2通	173				○	○	△	○		○
○			シャシ整備実習	動力伝達（マニュアルトランスミッション、クラッチ）、旋回・走行（ステアリング、サスペンション、ホイールアライメント）、制動装置（ブレーキ）の構造を理解及び12ヶ月定期点検の整備内容を実習車にて理解する。	2通	209				○	○	△	○		○
○			電装整備実習	自動車整備に必要な灯火・点火・充電・開閉・施錠・始動装置の整備方法を実習にて理解する。	2通	171				○	○	△	○		○
○			基本計測	各整備作業時に必要な計測作業を理解する。	2通	23				○	○	△	○		○
○			自動車検査作業	自動車の点検整備後の検査作業の手順を理解する。	2後	30				○	○	△	○		○
○			故障原因探究実習	自動車の故障個所をいろいろな方法を使い診断していく。	2通	44				○	○	△	○		○
		○	整備インターンシップ	実際の自動車工場にて、企業インターンシップによる自動車整備の知識を学ぶ。	夏季	40		○		○		△			○
		○	特色授業	一級自動車工学課程及び車体工学課程の特色ある授業の基本を学ぶ。	2通	14				○		△	○		
合計				17科目	必須時間（　974時間）										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業に必要な必須科目の時間数の９０％以上の出席率であること	2学年の学期区分	前後期
	１学期の授業期間	37週

（留意事項）

１　一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合

２　企業等との連携については、実施要項の３（３）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

（カスタム自動車工学科－３年）

	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	●			材料・構造	自動車材料の特性、構造	1通	20		●			●		●		
2	●			力学・数学	自動車工学の数学、算出式	1通	16		●			●		●		
3	●			鈑金整備	自動車ボディー修理	1通	110		●			●		●		●
4	●			塗装作業	自動車塗料と塗装技術	1通	74		●			●	●	●		●
5	●			損傷診断	自動車の損傷形態と損傷診断	1通	54		●			●		●		●
6	●			自動車検査	自動車の完成検査	1後	10		●			●		●		
7	●			自動車法規	自動車保安基準	1通	10		●			●		●		
8	●			工作作業	金属、非金属材料の工作	1前	16				●	●		●		
9	●			鈑金整備	自動車補修、骨格修理、鈑金作業	1通	300				●	●		●		●
10	●			塗装作業	補修塗装、比色、調色、塗装技術	1通	386				●	●		●		●
11	●			損傷診断	損傷診断	1通	90				●	●		●		●
12	●			自動車検査	自動車法令検査、完成検査	1後	26				●	●		●		
合計					1,112単位時間											

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
必修単位時間の90%以上	１学年の学期区分	前後期
	１学期の授業期間	17週

授業科目等の概要

（カスタム自動車工学科－４年）

	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	●			デザイン	自動車デザイン基礎（デッサン）	2前	10		●	●		●		●	●	
2	●			導入教育	コミュニケーション能力育成	2前	10		●			●		●		
3			●	金属塗装	金属塗装技能士の学科対策	2前	5		●	●		●		●		●
4	●			デザイン	車両デザイン（デッサン）	2前	10		●	●		●		●	●	
5	●			工作機械	工作機械の使用用途、名称、取説	2前	6		●			●		●		
6	●			金属加工	金属の性質、加工法	2前	6		●			●		●		
7	●			カスタム塗装	特殊塗料、特殊塗装	2前	6		●			●		●		●
8	●			自動車法規	構造変更等法令次項	2通	15		●			●		●		
9	●			金属加工	金属、非鉄金属の加工法	2通	40				●	●		●		●
10			●	金属塗装	金属塗装技能士資格実技演習	2前	6				●	●		●		●
11	●			樹脂部品	樹脂特性、樹脂部品の加工、修理	2前	10				●	●		●		
12	●			カスタム塗装	特殊塗料、特殊塗装の実技演習	2通	200				●	●	●	●		●
13	●			車両制作	カスタム車両の作成	2通	730				●	●	●	●	●	●
14	●			車両法規	完成検査、構造変更申請等	2後	20				●	●		●		
合計					1074単位時間(必修1,063単位時間)											

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
必修単位時間の90%	１学年の学期区分	前後期制
	１学期の授業期間	17週